



研究所だより



さわやかな新緑の季節となりました。皆様方におかれましてはご多忙の毎日をお過ごしのことと存じます。さて、中土佐町に教育研究所が設置されて10年目となりました。また、本年1月からは大野見庁舎より久礼地区の新庁舎に研究所も移転し、新たな環境と節目の中で児童生徒の基礎学力の定着に関する研究と取組を中心とした運営を行っていきます。本年度も学校をはじめ、教育関係機関、保護者、地域住民の方と連携し、諸課題の解決に向けてともに取り組む研究機関としての役割を果たしていきたいと考えています。本年度も研究所の運営に関して、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

中土佐町教育研究所 所長 古味 秀夫

本年度の研究所職員

中土佐検定の配布、回収、支援等で各学校に訪問させていただきます。よろしくお願いいたします。

所長 古味 秀夫（新任） 研究員 森 将人
支援員 佐竹 涼太（新任） 支援員 大西 章代



めざす教育研究所像と本年度の取り組みの重点

(1) めざす研究所像

- ☆学力向上において、基礎基本の定着を図るために中土佐検定に取り組み、学校現場の課題解決にも共に取り組む教育研究所
- ☆学校・保護者・地域からもよく見える教育研究所

(2) 本年度の取り組みの重点

【重点1】小中学校中土佐検定の取組

- 算数・数学・英語検定 年間3回実施
- 漢字検定 年間2回実施(中学校のみ)
- 結果分析(間違いランキング集の活用)
- 検定取組支援(加力・個別指導)
- 数学・英語テキスト改訂版作成

【重点2】算数・数学科において主体的・対話的で深い学びのある授業づくりについての研究

【重点3】情報の収集・発信

- 研究所だよりの発行と中土佐町広報での情報発信
- 研究所間の交流
- 各種学力調査の結果分析と中土佐検定との関連
- 研究授業への参加や学校訪問

中土佐検定

中土佐検定は、平成25年度に中学校数学・英語の2教科の試行から始まり、今年度で9年目の実施となります。検定実施以前は、それぞれの学校が独自に基礎学力の定着に向けての取り組みを行っていました。この中土佐検定の実施で、町内の小中学校が共通のテキストを活用して、工夫した取り組みを行い、結果を確認し合っています。町内全体の間違い問題からは児童生徒のどこで、どのように間違ったかも把握でき、授業改善や家庭学習等にも役立てることができます。

本年度も学校全体で組織的に取り組み、家庭での学習としても活用し、脳の活性化と学びの習慣化、基礎学力の定着に役立ててください。

実施要項は下記のとおりです。また、中土佐検定への取り組み、実施に関して、研究所としても学校のお役に立ちたいと考えています。何かできることがあれば連絡をお願いします。



1 検定の実施日

	第1回	第2回	第3回
小学校（算数）	6月 9日（水）	11月17日（水）	2月 9日（水）
中学校（数・英）	6月15日（火）	11月 9日（火）	2月 3日（木）
中学校（漢字）	9月22日（水）	1月20日（木）	

2 受検級

該当学年の級を受検する。



3 検定の内容

テキストの内容から出題する。

4 検定の実施時間

小学校および中学校漢字は25分で実施する。また、中学校は50分の検定の時間を設定し、2教科実施する。なお、2教科を別々に実施する場合は、それぞれ25分で実施する。（ステップタイムや帯タイムを活用）

5 検定当日の欠席児童生徒

検定日より、3日後までは本試験を受検できる。ただし、学級閉鎖などで欠席が長期にわたりそうな場合は、相談のうえ、実施する試験を決定する。

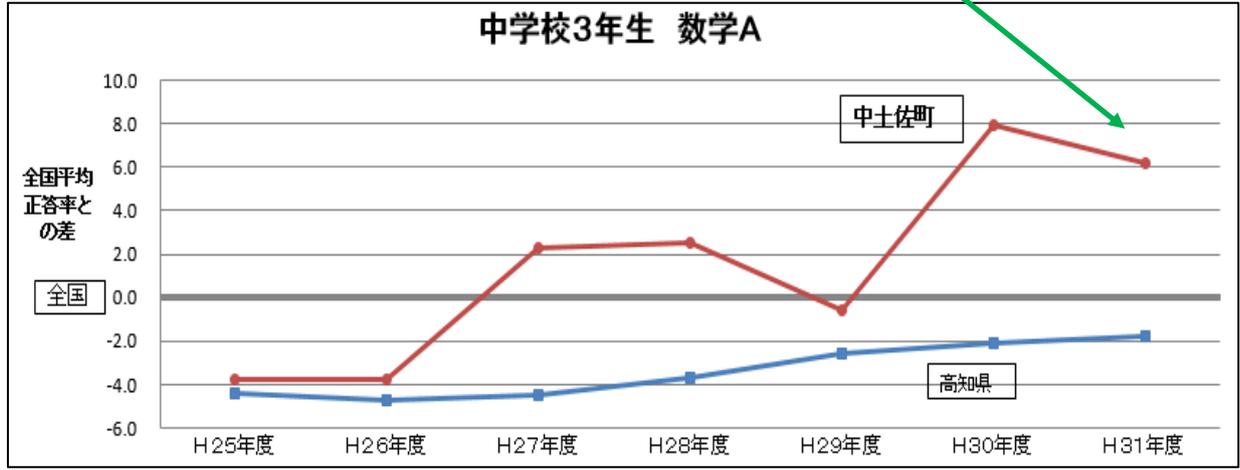
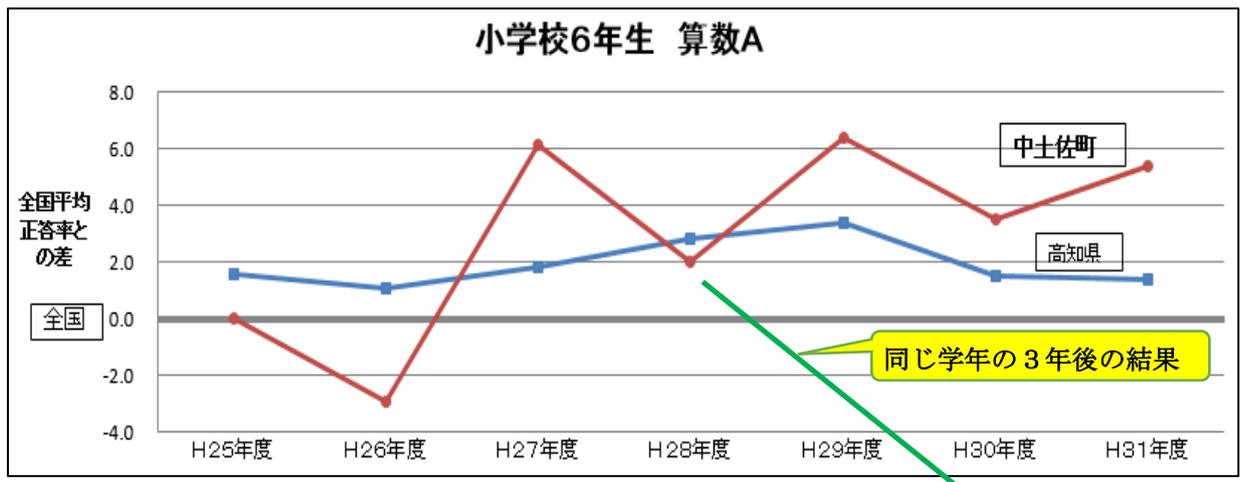
- 6 合格ラインと合格認定証の授与
100点満点で80点以上を合格とする。なお、合格者には教育委員会が合格認定証を授与する。
- 7 再試験・再々試験の実施
本試験で80点未満の児童生徒については、再試験を各学校で実施する。なお、再試験で合格しなかった場合は、再々試験を行う。本試験欠席児童生徒については、本試験より3日以内なら本試験を、それ以降欠席の場合は再試験を行う。
- 8 受検免除や配慮者の児童生徒について
学校で判断し、検定1週間前までに教育研究所に連絡する。(電子媒体可)
- 9 採点について
検定の採点は、中土佐庁舎において教育研究所が行う。
- 10 町広報等での採点結果の公表
この制度の趣旨から、採点結果は、町全体のデータ(学年別の平均点・合格者数・合格率等)として公表する。学校別の結果は公表しない。
- 11 間違いの多い問題と誤答事例
教育研究所が中心となり、各学校が採点結果やデータを活用できるようにするために、検定終了後、間違いの多かった問題と誤答事例などをまとめ、各学校に配付する。

中土佐検定の実施と学力調査結果(算数・数学)

次頁のグラフは、中土佐検定を実施した平成25年度から平成31年度までの全国学力学習状況調査(算数・数学A)結果を全国、高知県、中土佐町と比較して表したものです。年度によって多少の上下はありますが、小中学校ともに中土佐町の結果が右肩上がりとなり、基礎学力が定着していることがわかります。

また、同一学年の結果を比較すると、平成28年度の小学6年生の結果が全国平均+2であったのが、3年後の平成31年度の中学3年生では、全国平均+6となっています。

このような結果は、各学校での授業改善や個別支援等の工夫した取り組みを行い、また、町内全体の学校で組織的に継続して中土佐検定に取り組んできたからだと考えられます。



教育研究所関係年間会合予定

中土佐検定の実施、運営に関して、学校との連携を密にし、結果や課題等を共有できるように本年度は下記の会合を予定しています。また、中学校テキスト編集（数学・英語）へのご協力もよろしくお願いいたします。（※テキスト編集進捗状況によっては第3回目の会も開催します）

月 日	予 定 会 合	備 考
5月14日	第1回中学校中土佐検定担当者会	
5月24日	第1回中土佐検定・教育研究所運営委員会	
6月 1日	第1回中土佐検定英語科検討委員会	
7月29日	第1回小学校中土佐検定担当者会	
6・7月	第1回中土佐検定数学科検討委員会	編集状況で調整
9・10月	第2回中土佐検定数学科・英語科検討委員会※	編集状況で調整
2月14日	第2回小学校中土佐検定担当者会	
2月15日	第2回中学校中土佐検定担当者会	
3月 1日	第2回中土佐検定・教育研究所運営委員会	